

☆ その他、平成19年度からの新たな取組

《第2章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

○ **135** 保育所職員の資質向上のための研修プログラム <予算額：1,082千円>

これまでから市営保育所を運営することで得られるノウハウを活用して、民営保育所に対し各種研修事業を実施していますが、規制緩和の促進や認定こども園の導入等、保育所を取り巻く状況は大きく変化しており、時代やニーズに対応した知識の習得を目指し、民営保育所職員の研修の充実を図ります。

- ・中堅保育士や新任・初任者保育士研修など、階層ごとにその職務能力遂行に必要な能力を開発します。
- ・研修を通じて、民営保育所における子育て支援の果たす役割の重要性について理解をしてもらい、職員の意識改革につなげていきます。
- ・保育士としての基本的な知識に加え、専門的な保育指針についても習得を目指します。

【保健福祉局 保育課】

《第4章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

○ **247** ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業 <予算額：4,500千円>

伝統芸能や茶道、華道、演劇、ダンスなどの分野で活躍する京都の一流の芸術家の方々を講師に、市内の小・中学校や保育所・児童館などで、文化芸術に関わる講和や実技指導、ワークショップ等を実施します。

子どもたちが、優れた文化芸術の「ほんもの」の魅力に触れる機会をつくることによって、文化や芸術に親しむきっかけを生み、豊かな感性や人間性を育みます。また、今日、社会問題にもなっている子どもたちの心の問題に対する効果も目指します。

【文化市民局 文化芸術企画課】

○ 「洛友中学校」開校

平成19年4月に、義務教育未修者と不登校を経験した生徒の学びの場として開校。夜間学級生徒と不登校を経験した生徒のふれあいを重視し、互いに学ぶことの喜び、学校の楽しさを再認識します。

平成19年度在籍生徒数 昼間部（不登校経験者）： 6名
（5月1日現在） 夜間部（義務教育未修者）： 43名

【教育委員会 生徒指導課】

○ **260 『ものづくり都市・京都』の未来を切り開く若者の育成 洛陽工業高校・伏見工業高校**

時代の先を見据えた工業高校教育を推進するため、平成19年4月、洛陽工業高等学校と伏見工業高等学校の全日制において既存の専門学科をそれぞれ「創造技術科」「システム工学科」の1学科に統合、2年次から生徒の希望や将来の進路目標に応じて選択が可能な特色ある専攻コースを設置しました。技術と創造の力で未来を切り拓く、たくましさを備えた技術者の育成に向け、今後とも全力で取り組んでいきます。

【教育委員会 学校指導課】

○ **261 夢を世界に広げる特色ある英語活動の推進 日吉ヶ丘高校**

府内唯一の専門学科「英語科」を設置している日吉ヶ丘高校では、平成19年度から21年度までの3年間、文部科学省から「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の指定を受けました。ALTとのティームティーチングを一層活用するほか、生徒の活動中心の英語授業を行うなど、「英語科」だけではなく「普通科」を含めた全生徒が「使える英語」を習得することを目指し、更なる英語教育の充実に取り組んでいきます。

【教育委員会 学校指導課】

○ **261 全国初・教員養成専門学科「教育みらい科」 塔南高校**

将来の教育を担う優れた教育者を養成するため、全国初となる教員養成の専門学科「教育みらい科」を平成19年4月に新設しました。専門教科「教育みらい学」を核として、小・中学校、教育系大学との連携による実践的な教育活動を正課として位置づけるほか、各界の第一線で活躍する特別講師を招聘した授業の実施、現役教員がメンター（よき先輩）として生徒一人一人をサポートするメンター制を取り入れるなど、特色ある取組を体系的に実施し、将来の「スーパーティーチャー」となる資質の高い教育者の養成に取り組んでいきます。

【教育委員会 学校指導課】

○ **298 食育推進事業**

1 食育推進体制の構築

「京（みやこ）・食育推進プラン」の推進のため、関係部局、機関、団体等で構成する京都市食育推進協議会を開始します。

2 食育情報の発信

「京（みやこ）・食育だより」の発行

3 食育の意識付け、きっかけづくり

ふれあいファミリー食セミナー、ウエストスリムクラブの実施

4 取組の定着、市民運動への展開

食育コンテスト「わくわくこんだてじまん（朝ごはん）」の実施

5 市民への普及啓発

市民の食育に対する関心の喚起の推進のため、「京（みやこ）・食の環境づくりフォーラム2007（仮称）」の実施

【保健福祉局 健康増進課】